

2024年2月29日
株式会社三菱UFJ銀行

GLP 投資法人と「サステナビリティローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下「当行」）は、GLP 投資法人（執行役員 みうら よしゆき 三浦 嘉之、以下「同投資法人」）との間で、同投資法人が策定したサステナビリティファイナンス・フレームワーク（以下、「同フレームワーク」）の適格クライテリアを満たす物件（「GLP 杉戸Ⅱ」、以下「本物件」）を資金使途としたタームローン契約を締結いたしました。

当投資法人は、物流不動産を主な投資対象とする REIT として、2011年9月に設立、2012年12月に東京証券取引所不動産投資信託市場に上場しました。物流不動産をはじめ次世代インフラ施設の開発・運営事業及びファンドマネジメントビジネスをグローバルに展開する GLP グループをスポンサーとして、首都圏、関西圏を中心とした「先進的物流施設」への投資を行い、鑑定評価ベース1兆円を超える安定したポートフォリオを構築しています。

同投資法人が資産運用業務を委託する GLP ジャパン・アドバイザーズ株式会社では、「ESG（環境・社会・ガバナンス）に関する方針」を制定し、ESG 課題への取組みを日々実践しています。同投資法人は、外部評価機関による環境認証や評価を複数取得した実績があり、環境に配慮したグリーンビルディングの取得や、グリーンリースの導入等を通じて、ポートフォリオにおける環境負荷低減に取り組み、2022年「GRESB リアルエステイト評価」において「5 Star」、「Global Sector Leader」及び「Regional Sector Leader」を獲得しております。また環境配慮及び社会的課題解決に資するプロジェクトの資金調達を目的とした ESG ファイナンスにも積極的に取り組み、これまで455億円の ESG 債を発行し、2024年1月末時点において J-REIT でトップの残高を有しております。

尚、本資金使途における設備資金は、同投資法人の同フレームワークに基づいて、十分な環境改善効果及び社会的便益が見込まれるプロジェクトとしての確認がなされたものです。同投資法人の同フレームワークは、株式会社日本格付研究所（JCR）より、最上位の評価（サステナビリティファイナンス・フレームワーク：「SU 1(F）」）を取得しております。

<サステナビリティローンの概要>

| | |
|-------|--------------------------|
| 契約締結日 | 2024年2月27日 |
| ローン金額 | 19億円 |
| 資金使途 | サステナビリティ適格資産の取得に伴う借入金の返済 |
| 貸出人 | 株式会社三菱UFJ銀行 |

<本物件概要（サステナビリティ適格資産）>

| | |
|------|-------------------------|
| 施設名称 | GLP 杉戸Ⅱ |
| 所在地 | 埼玉県北葛飾郡杉戸町大字深輪 398 番地 2 |
| 主要用途 | 物流施設 |

| | |
|-----------|---|
| 敷地面積／延床面積 | 53,792.06 m ² ／107,050.09 m ² |
| 環境認証 | CASBEE 不動産 S ランク (2023 年 8 月 31 日認証取得) |
| 社会課題への取組 | 災害発生時における施設の提供 |

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上